

鋼材市況

— 原料高騰で異形棒鋼は2カ月連続の大幅上伸！ 堅調な需要を背景に今後も強基調が続く —

原料価格の上昇などを背景に鋼材の価格上昇が続いている。『積算資料』2018年2月号（12月20日～1月10日調べ、東京価格）では、異形棒鋼が前月比4,000円上伸のt当たり68,000円、H形鋼が同じく1,000円上伸のt当たり80,000円となった。

原料となる鉄屑は、アジア市場での需要増などを背景に国内外で値上がりしている。電炉メーカーでは、原料価格の上昇で悪化した採算を改善すべく、鋼材販価の引き上げを押し進めている。

異形棒鋼は、採算悪化が浮き彫りとなった電炉メーカーが、受注量を減らしてでも逆ザヤ状態の解消を最優先として値上げを強硬に進めた結果、2カ月連続での大幅上伸となった（直近2カ月でt当たり合計7,000円の上伸）。

H形鋼は、メーカー側が昨年秋以降、段階的に販価の引き上げを進めた結果、需給の引き締めなどを背景に値上げは徐々に浸透し、4カ月連続の価格上伸となった（直近4カ月でt当たり合計6,000円の上伸）。

東京オリンピック・パラリンピック関連事業や首都圏の再開発事業をはじめとした鋼材需要は堅調に推移し、需給も徐々に引き締めを強めつつある。原料の鉄屑価格の高値が続く中、メーカー側は今後も採算を重視していく姿勢を鮮明にしており、しばらくの間、鋼材市況は全般的に強基調が続くとみられる。

【積算資料】2月号調査結果【東京】

品名	規格	単位	価格(円)	前月比	前年同期比
異形棒鋼	SD295A D16	t	68,000	+4,000円 (+6.3%)	+14,000円 (+25.9%)
H形鋼	SS400 H-200×100×5.5×8	t	80,000	+1,000円 (+1.3%)	+9,000円 (+12.7%)
鉄屑	H2	t	26,000	+500円 (+2.0%)	+7,000円 (+36.8%)

※価格推移の詳細は前文6頁をご参照ください。

